

ばっけ



第117号
発行 令和8年5月
放送大学秋田学習センター

〒010-8502
秋田市手形学園町1-1(秋田大学内)
TEL : 018-831-1997
E-mail : akita-aktsc@ouj.ac.jp

「学びの多様化学校」ってご存じですか？



放送大学秋田学習センター 客員教授
北島 正人

前回は、最近の不登校事情について取り上げました。多くのご家庭では、子どもと保護者が悩みながら登校に向けてありとあらゆる方法を試し、学校では教師やスクールカウンセラーが学校の受け入れ態勢を見直し、子どもそれぞれにできる限りの対応を実践してきました。現在、不登校はさらに増え、2024年度の中学生の不登校は約15人に1人(約21.6万人)、小学生では44人に1人(約13万人)に拡大しています。

学校に行けなくなる要因についてはさまざまな分析、報告がなされています。また、「再び元の学校に戻れるように」という前提で、不適応を生じる要因について検討が重ねられてきました。子ども本人が努力しても改善に向かわないことも多く、また、周囲の大人の働きかけも同様に限界があります。

こうした状況の背景には、現在の学校教育の枠組みそのものが関係していることも考えられます。一般の児童生徒を対象とした通常の教育と特別支援教育という枠組みの中では、こうした多様な状況に十分に対応しきれない場面も少なくありません。そういう意味で、不登校は、子ども・周りの大人といった“ソフトウェア”を書き換えて通常教育への適応を目指す段階から、学校の仕組みという“ハードウェア”そのものを見直す段階に来ているのかもしれない。

こうした背景をもとに、近年では「学びの多様化学校」と呼ばれる新たな教育の場が整備されつつあります。これらの学校では、学習指導要領に基づきつつも柔軟な運用が認められ、子どもの実情に応じて教育課程や学習の進め方を設計することが可能です。始業時間にゆとりを持たせることもでき、不登校の子どもにとって安心して学び続けるための柔軟な選択肢の一つとなっています。この「学びの多様化学校」は2005年から「不登校特例校」の名称で、全国で設置が可能になりましたが、2023年に現在の名称となりました。子どもたちが胸を張って通う学校ですから、この名称変更は重要な意味を持っています。

栄養があっても口に入れると反射的に吐いてしまう食べ物を、無理にでも食べろと強要されることは現在ではほぼないでしょう。一方で、一般的な学校教育が合わずどうしても足が向かない、心身の不調を呈する状態であっても、いずれ通えるようにならねばならないという考え方は根強くあります。でも、本当は、子どもたちの成長に必要な栄養が摂ればそれでよいという視点で考えると、ご飯にこだわらなくてもパンでも良いはず。「学びの多様化学校」は、教育に必要な要素が満たされていれば、その形は一つでなくてもよいという発想に立つ学校です。子どもたちが楽しいという”主体性“を保ちながら、自ら学校に向かうことができるならば、それに越したことはありません。パンでなくてもナンでもいい。そう、何でも良い。重要なのは、その子にとって必要な学びが確保されていることです。そのためには、事実に基づいて現状を理解し、実効性のある対策を考えていくことが求められます。私たち大人自身もまた、「学び続ける」ことが大切なのだと、改めて感じます。

2025年度第2学期

ご卒業おめでとうございます!



秋田学習センターでは、2025年度第2学期をもって、教養学部生27名が卒業し、大学院生1名が修了されました。皆様がそれぞれの目標に向けて新たな一歩を踏み出されることに、心よりお祝い申し上げます。

4月4日(土)、秋田学習センターにおいて「学位記授与式」が挙行されました。当日は卒業生・修了生12名が出席し、式は滞りなく執り行われました。



学位記授与式 記念撮影

2025年度第2学期 卒業生・修了生

教養学部

生活と福祉コース	3名
心理と教育コース	10名
社会と産業コース	1名
人間と文化コース	2名
情報コース	4名
自然と環境コース	7名

大学院

情報学プログラム	1名
----------	----

式の様子は、4月5日付の秋田さきがけ新聞にも掲載されました。

本部主催学位記授与式

本部主催の学位記授与式が3月20日(金)に「ベルサール高田馬場」にて開催されました。

学習センター主催の学位記授与式とは別日程で行われ、全国から多くの卒業生・修了生が一堂に会しました。

秋田学習センターからも卒業生・修了生が出席されました。



会場「ベルサール高田馬場」(東京都新宿区)

出席された皆様
(お写真とれなかった方、申し訳ございません。)

卒業生・修了生の皆様から メッセージをいただきました



N.Fさん

心理と教育コース

先生方、職員の皆様、応援してくれた家族に感謝です。ラジオで耳にした「人間にとって貧困とは何か」「思春期・青年期の心理臨床」に惹かれ入学しました。その後、転職や転居、結婚で生活スタイルが変わりましたが、学び続けられました。授業も面白くてためになり、放送大学を選んで本当によかったと思っています。

H.Tさん

心理と教育コース

過ぎてみればあっという間の4年間でした。放送大学での学びによって、物事の見え方が変化し世界が広がりました。4年前、入学することを決めた自分に「よくやった」と言いたいです。

N.Uさん

心理と教育コース

2年半の在籍となりました。仕事をしながらの受講で、1回1回の受講に何度となく葛藤も覚えました。でも受講の内容に関係なく、人へ物事を伝える先生方の取り組み方が一番の学びだったと思います。それが今とても役に立っています。

T.Kさん

人間と文化コース

2回目の卒業となりました。社会人として仕事をしながら学ぶ機会を得られて感謝しております。教職員の皆さま、ありがとうございます。この年になって「学ぶことは楽しい」と実感しております。

H.Kさん

情報コース

入学時の目標の卒業ができたことが本当に嬉しいです。私は体調が優れない時が多いので放送大学の時間帯、場所を選ばずに学習できる自由さに救われた場面が何度もありました。勉学面ではプログラミングを学びたく「情報コース」にしました。授業内容は難しかったですですが、とても学びがいがあって楽しかったのを覚えています。2年次には心理学を学びたくて科目をほとんど履修しました。単位認定試験中は日を跨いでレポートを執筆することが、毎日のようにあって大変でしたが今ではいい思い出です。4年間本当にありがとうございました。

天童 繁昭さん

情報コース

2006年に初めて入学し、20年で4度目の卒業を迎えることができました。長いようで、あっという間の年月でした。その中で一番の収穫は、知らないことを知る喜びを得たことです。この喜びを、もっと大きなものにするため、今後も学習を継続したいと考えてます。

匿名さん

自然と環境コース

放送大学は自分の選択したコースだけでなく、他コースでも興味のある科目を選択できたので、幅広く学ぶことができました。また授業はインターネット配信なので、計画を立てて自分のペースで学習することができました。難しい科目もありましたが、頑張って乗り越えて卒業を迎えることができました。4年間ありがとうございました。

M.Sさん

自然と環境コース

自然が好きで、興味のある科目を履修していたら、気付いたら卒業になりました。特に全国各地での面接授業が楽しく、北は青森から南は福岡まで様々な地域へ足を運び、学びを深めることが出来ました。まだまだ学びたいことがあるので、引き続き再入学をして学習を続けていく予定です。

congratulation !

皆様のさらなるご活躍を
お祈りいたします



卒業生・修了生を代表して、大学院情報学プログラムを修了された宝槻智さんより、謝辞をいただきました。

『秋田学習センターとともに歩んだ学びと研究』



本日、修了生・卒業生を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、このような温かな学位記授与式を開いてくださった放送大学秋田学習センターの皆さまに、心より御礼申し上げます。また、学びの道のりを支えてくださった先生方、家族、職場の皆さまにも、深く感謝申し上げます。

今日ここに集う私たちは、年齢も職業も、学び始めた理由も一人ひとり違います。学部で学びを深めてこられた方もいれば、大学院で研究に取り組み、論文を書き上げた方もいます。仕事や家庭のことを抱えながら、それでも学ぶことをやめずに、少しずつ前に進んでこられた方も多いと思います。そうした歩みはそれぞれ異なっているけれども、限られた時間の中で学び続けてきたことは、私たちに共通する大切な経験であり、これから先も残る財産だと感じています。

放送大学のよさは、自分の生活を大切にしながら学べることにあると思います。そして、その学びを足元で支えてくれたのが、秋田学習センターでした。私自身、修士論文の調査では小講義室を利用させていただき、研究を進めるうえで本当に助けられました。また、次学期の科目を選ぶ際に、図書室で印刷教材を事前に手に取り、内容を確認しながら検討できたことは、科目選択を進めるうえで大きな助けとなりました。秋田学習センターは、ただ学ぶための場所というだけでなく、学び続けようとする気持ちを支えてくれる場所だったように思います。

コロナ禍を経て、世界の状況は大きく変わりました。ウクライナ情勢や中東情勢、原油価格の上昇や円安の進行、そして生成AIの急速な広がりなど、先を見通しにくい時代が続いています。だからこそ、学ぶということは、知識を増やすだけではなく、変化を自分の頭で受け止め、考え、判断していく力を養うことなのだと感じます。

私は大学院で、生成AIを活用したホームページ作成サービスの利用体験について研究してまいりました。新しい技術を扱うなかであらためて思ったのは、学びは知識だけで完結するものではないということです。周囲の支えがあってこそ、学びは自分の中に根づき、次の一歩につながっていくのだと思います。

私たち修了生・卒業生は、ここで得た知識と経験を、それぞれの仕事や暮らし、地域の中で生かしてまいります。最後に、これまで関わってくださったすべての皆さまに、修了生・卒業生を代表して、あらためて心より感謝申し上げます。

2026年4月4日

修了生・卒業生代表 宝槻 智



2025年第2学期 学習センター所長表彰式

2014年度に制定された「放送大学秋田学習センター所長表彰取扱要項」に基づき、所長表彰式を4月4日（土）の学位記授与式終了後に開催し、4名が出席されました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

《学部において6コース卒業された方》
腰山 裕子 さん

《学部において4コース卒業された方》
天童 繁昭 さん 生活と福祉専攻
自然と環境コース
社会と産業コース
情報コース

《満80歳以上で学部を卒業された方》
佐々木 昭治 さん

《エキスパートの認証を取得された方》
鈴木 有波 さん 心理学基礎、臨床心理学基礎
丹野 寛恵 さん 福祉コーディネーター、心理学基礎
佐藤 満雄 さん 現代社会の探求



所長表彰記念撮影



※ご本人から同意いただいた方の氏名を掲載させていただいております。

学長表彰（名誉学生）表彰式

放送大学では、教養学部全コースを卒業した方で、人物、学習態度が良好であると認められる学生に対し「放送大学名誉学生」の称号を付与しています。この度、腰山裕子さんが、全6コースを卒業され、名誉学生の称号を付与されるとともに学長表彰を受けました。これまでの努力を称え、心よりお祝い申し上げます。

腰山さんの受賞により、秋田学習センターにおける名誉学生は6名になりました。



学長表彰(名誉学生) 腰山裕子さん



学習センターロビーには、名誉学生顕彰額を飾っております。



名誉学生誕生に関連し、秋田さきがけ新聞の取材を受けました。

2026年度第1学期

ご入学おめでとうございます!

2026年度第1学期は、172名の皆様をご入学されました。

4月4日(土)、秋田学習センターにて「2026年度第1学期入学者の集い」が開催され、25名の新生が参加しました。新たな学習への思いを胸に新学期が始まりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



入学者の集いの様子（学長メッセージ）

【教養学部】

全科履修生	50名
選科履修生	48名
科目履修生	25名
特別聴講生	40名
合計	163名

【大学院】

修士全科生	0名
修士選科生	5名
修士科目生	4名
特別聴講生	0名
合計	9名

秋田学習センター入学者数

(令和8年4月15日現在)



今学期ご入学されたお二人にご寄稿いただきました

「入学にあたって」

【全科履修生】K.Kさん

通信制高校を卒業し、次の進路として放送大学を選びました。理由は、自分の生活に合わせて無理なく学べるところに魅力を感じたからです。好きなことを大切にしながら、自分のペースで学べる環境は、私にとってとても合っていると感じました。進路や将来について悩み、先が見えなくなっていた時期にこの大学を知り、学びながらこれからのことを考えられる点にも惹かれました。放送大学での学びやさまざまな経験を通して、自分の視野や選択肢を広げていきたいです。また、外国語の授業も履修しました。将来、学んだ言葉を実際に現地で使えるようになることも楽しみにしています。

「桜が咲く頃に」

【全科履修生】N.Tさん

この春、放送大学（全科履修生）として入学することができました。私は高専卒ということで3年次編入となり、大学3年生としてのスタートです。

毎春、桜を見るたび入学式を思い出す方も多いかと思いますが、高校/短大卒の方は新卒就職時の花見にて、将来進学を考えていた方は少ないかと思えます。その一人として、放送大学入学を迎えるとは考えてもみませんでした。卒業を目指す多くの方は仕事と学業の両立が必要と思えますので、米国大学のような「入学は易し卒業は難し」と思われます。自分の目的に合ったカリキュラムや時間や場所を問わず、更には繰り返し受講できるシステムがあるためマイペースな自分に合い、スキルアップ学習が継続できると入学を決意した次第でございます。

最初の登録単位はバンド活動をしていることもあり「シン・ビートルズde英文法」、もう一つは天気に興味がありましたので「はじめての気象学」に挑むことにしました。先ずはこの科目を必ず履修し、視野を広げた学習を積み重ねていき、入学と同じ桜が咲く頃に、いつか卒業していることを夢見しています。

◆受講者の皆様へ

- ・受付は行いませんので、直接講義室にお入りください。
- ・秋田学習センターに食堂・売店はありませので、昼食は各自でご用意ください。
- ・面接授業を受講する場合のみ、秋田大学手形キャンパス構内の駐車場を利用できますので、路上駐車は絶対に行わないでください。
- ・「大地の成り立ちを学ぶ」「古生物学」の会場は、【秋田大学鉱業博物館】ですので、ご注意ください。

◆「心理学実験3」を受講される方へ

- ・ご自身のパソコンを持参して受講するBYODとなります。シラバスで受講に必要な端末の種類やソフトウェアについて、必ず確認してください。
- ・学習センターの無線LAN (Wi-Fi) に接続する場合、以下のとおり所定の申請手続きが必要です。

- ①システムWAKABA内の「放送大学自己学習サイト」で「情報セキュリティ研修（学生用）」を受講し、小テストに合格する。
- ②システムWAKABA内の「各種届出・申請様式」で「無線LAN利用申請（オンライン）」についてをクリックする。
- ③参考URL <https://forms.gle/GbZjCKTBEzvwanENA> をクリックする。
- ④「無線LAN利用申請」をクリックする。
- ⑤氏名を入力し、無線LAN利用条件を確認する。同意に✓をし、「申請する」をクリックする。
- ⑥申請後、即時IDとパスワードが発行されます。

■発行されたID・パスワードをご自分の端末に入力することでインターネットへ接続できます。

ライブWeb授業を受講してみませんか

「熱機関と冷凍機・ヒートポンプ」

【開講日時】

講師 田子 真 先生

5/22
Fri

5/29
Fri

6/5
Fri

6/12
Fri

各日とも
9:30～12:40

熱を仕事に変換するシステムと、熱を低温側から高温側へ移動させるシステムについて、その基礎原理を学ぶことができます。初心者の方でも理解できるようにわかりやすく解説していただきます。

ライブWeb授業は、ご自宅のパソコン等からリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等はすべて専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。

ライブWeb授業は、卒業要件上は「面接授業またはオンライン授業」として取り扱います。

ライブWeb授業の詳細はこちらから→



追加登録について

追加登録とは、科目登録決定後に空席のある面接授業に受講申し込みをする制度です。科目登録申請期間中に登録できなかった方、面接授業の登録ができない期間に入学手続きをした方は、この制度を利用して受講してください。

学習センター窓口での申請

科目追加登録申請書に必要な事項を記入し、窓口にて授業料・事務手数料200円（1科目につき）をキャッシュレス決済でお支払いください。

学習センター窓口以外での申請

メールまたは電話で追加登録希望とお伝えください。授業料の支払い方法についてのメールを送信いたします。

- ・授業料は1科目（1単位）につき6,000円+200円の事務手数料がかかります。
- ・実施日2日前の17:00までの受付となります。また、受付期間内でも定員になり次第締切となります。
- ・科目追加登録申請書は、学習センター窓口にあります。
- ・空席情報は、学習センター内の掲示、または「システムWAKABAログイン → 教務情報 → 科目登録申請 → 空席照会」でご確認ください。

【追加登録を受け付けている面接授業・ライブWeb授業科目一覧】

◆面接授業◆

(5月16日以降開講科目)

科目区分		科目名	担当講師	授業実施日
生活と福祉	専門	食品と減塩	石川 匡子	5月16日(土)・17日(日)
心理と教育	専門	心理検査法基礎実習	木村久仁子	5月16日(土)・17日(日)
情報	専門	超音波計測の基礎	福田 誠	5月23日(土)・24日(日)
心理と教育	専門	ストレス・マネジメント	高梨利恵子	5月23日(土)・24日(日)
生活と福祉	専門	精神障害リハビリテーション	富澤 涼子	5月30日(土)・31日(日)
社会と産業	専門	地震災害と地域防災	水田 敏彦	5月30日(土)・31日(日)
外国語	基盤	英語の文章表現を学ぶ	中尾 信一	6月20日(土)・21日(日)
生活と福祉	専門	小児看護学ー入門編ー	齋藤 雅世	6月20日(土)・21日(日)
人間と文化	専門	フランスの近現代史と文学	辻野 稔哉	6月27日(土)・28日(日)
心理と教育	専門	心理学実験3	中野 良樹	6月27日(土)・28日(日)
自然と環境	専門	古生物学	嶋田智恵子	7月4日(土)・5日(日)
生活と福祉	専門	住まいの環境と健康・快適性	西川 竜二	7月4日(土)・5日(日)

◆ライブWeb授業◆

自然と環境	専門	熱機関と冷凍機・ヒートポンプ	田子 真	5月22日(金)・29日(金) 6月5日(金)・12日(金)
-------	----	----------------	------	-----------------------------------

秋田をまなぶ講座シリーズ2026

今年度も全3回開催する予定です。第2回は「放送大学秋田学習センター開設30周年記念」として、秋田学習センター客員教員でもある浅野朝秋先生を講師に迎え、記念講演会を開催いたします。

お申込み方法などは、同封のチラシや秋田学習センターウェブサイトで確認してください。皆様のご参加をお待ちしております。

第1回

7月11日(土) 13:30～

十和田湖の民話と伝説 ～八郎太郎伝説を中心に～

会場：小坂町交流センターセパーム2階ホール

講師：永井 登志樹 氏（菅江真澄研究家・男鹿市文化財保護審議会委員）

第2回

9月26日(土) 13:10～

認知症～予防と共生・リハとケア～

会場：放送大学秋田学習センター講義室

講師：浅野 朝秋 氏（秋田大学大学院医学系研究科准教授）

放送大学秋田学習センター
開設30周年記念



第3回

11月7日(土) 13:30～

「東湖八坂神社祭統人行事」について

会場：潟上市市民センターかたりあん 1階多目的ホール

講師：稲 雄次 氏（民俗学者・元秋田経済法科大学教授
・元国立歴史民俗博物館客員教授）

通信指導について

通信指導は、Web通信指導による提出（郵送提出科目を除く）ですので、問題冊子の送付はありません。

履修科目の通信指導問題は、授業共有ファイルにアップロードされています。

（システムWAKABA → 授業サポート → 授業共有ファイル）

●Web通信指導による提出

2026年5月7日(木) 10:00 ～ 5月27日(水) 17:00

●郵送による提出（郵送提出科目のみ）

2026年5月13日(水) ～ 5月27日(水) 必着

2026年度より、通信指導（択一式）の結果、および自習型問題の解答・解説の確認が原則Webのみとなります。なお、学習センター受験者、郵送提出の方には引き続き郵送します。



通信指導の提出（合格）が試験の受験資格です！！

提出を忘れると単位認定試験を受けることができませんのでご注意ください！



2026年度第1学期 単位認定試験のお知らせ

放送授業を科目登録し、通信指導に合格して受験資格を得た方は、各学期末に行われる当該科目の単位認定試験を受験することができます。また、Web受験方式を基本とし、一部の科目のみ郵送受験方式により実施します。



◆ 試験日程

Web受験科目	○択一式科目 7月14日(火) 9時 ~ 7月22日(水) 17時
	○記述・併用式科目 7月14日(火) 9時 ~ 7月18日(土) 17時
郵送受験科目 (一部の科目)	7月14日(火) ~ 7月18日(土) 《必着》

「単位認定試験通知(受験票)」の郵送は、原則として廃止となりました。

ただし、学習センターで受験される方については、引き続き受験票を郵送いたします。
※ 受験可能な科目(通信指導に合格した科目)は、システムWAKABA「教務情報→単位認定試験時間割照会(学生用)」からご確認ください。

◆ Web単位認定試験システム体験版

単位認定試験期間の前に、システムWAKABAの学内リンクから「Web単位認定試験システム体験版」を利用し、解答提出までの一連の操作を実際に試験で利用する端末で必ず確認しておいてください。



「Web単位認定試験操作体験会」を開催します!

- 【日 時】
- ① 6月13日(土) 10:00~12:00
 - ② 6月13日(土) 14:00~16:00
 - ③ 6月14日(日) 10:00~12:00
 - ④ 6月14日(日) 14:00~16:00

【定 員】 各回とも5名

【場 所】 秋田学習センター実習室

【予約方法】 参加希望日の前日までに秋田学習センター窓口またはお電話(018-831-1997)で事前予約をしてください。

ご参加ください

- ※ 都合が合わない方は、ご相談ください。
- ※ 各回とも同じ内容です。
- ※ 空席のある場合は、複数回の参加も可能です。

パソコン操作が不安な方は、この機会にぜひご参加ください。

また、「単位認定試験受験場所変更願」を提出し、**秋田学習センターでの受験希望の方は必ずご参加ください。**



ゼミに参加してみませんか



今年度も秋田学習センター客員教員によるゼミを開講しております。客員教員の専門分野におけるテーマについて、共に学ぶ場です。放送大学秋田学習センターの学生であれば、どなたでも無料で参加することができます。

見学もできますので、お気軽にお申し込みください。

【鉱山とは何か？－秋田の鉱山史から探る人と鉱山の関係－】 今井 忠男 先生

放送大学客員教授・秋田大学大学院国際資源学研究所教授

人類は、地球の鉱物を利用することで文明を築いてきました。すなわち、鉱物を採取する場所が鉱山であり、鉱山は人類の文明と共に現在まで、数多く存在し続けています。一部の人類にとっては、文明発展や鉱山開発は目的ではなく、衝動なのかも知れません。本ゼミでは、このような鉱山の本質について、秋田の文明と鉱山の歴史から探って行きたいと考えています。

(月1回：主に水曜日 9:30~11:45)

【熱の流れを可視化する－数値シミュレーションによる熱移動－】 田子 真 先生

放送大学客員教授・秋田大学名誉教授

熱の流れ・移動は目に見えませんが、数値シミュレーションにより移動熱量や温度分布を可視化することができます。本講義では、熱移動のメカニズムを学ぶとともに、簡単な熱移動問題を取り上げて数値シミュレーションの基礎を学習します。

(月1回：主に金曜日 13:30~15:00)

【認知症はどこまで予防できるのか】

浅野 朝秋 先生

放送大学客員准教授・秋田大学大学院医学系研究科准教授

超高齢社会の現状を踏まえ、認知症とはどのような「疾患」なのかを説明し、現状どこまで予防が期待できるのかについて解説します。

(月1回：開催日は参加者と相談)

【フランス文化】

辻野 稔哉 先生

放送大学客員准教授・秋田大学教育文化学部准教授

フランスの文化・芸術・社会・歴史といった分野について、毎回一つのトピックについての報告を出発点として、一緒に学んで行きたいと思えます。

(月1回：主に水曜日 14:30~16:45)

【住環境の快適と健康】

西川 竜二 先生

放送大学客員准教授・秋田大学教育文化学部准教授

省エネ・低環境負荷かつ健康的な住環境の仕組みや住まい方、住環境の快適性の評価方法、住環境と健康の関係性について説明します。座学だけでなく、受講生の方の希望があれば、教室内やキャンパス内で夏季は熱中症の危険度(暑さ指数)や冬季はヒートショックの危険度、換気方法とCO2濃度の変化などを一緒に簡易測定して、住環境の快適性と健康性の理解を実践的に深めて行きたいと思えます。自宅等の身近な環境を調べてみたいという疑問にもなるべく対応します。

(月1回：開催日は参加者と相談)

